

夢を描くハイウェイ物語

道の3つの夢を実現 深川・留萌自動車道

狭い道幅や急カーブなど、国道233号の抱えている課題を解消し、地域の人やモノ、さらに情報の交流を活性化する期待の道。
新しく出来るこの道の行く先は21世紀へ続く豊かな未来です。

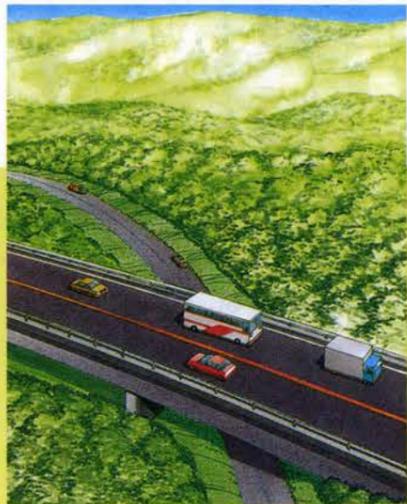
豊かな暮らしのために

高規格幹線道路深川・留萌自動車道は、深川市を起点に秩父別町・北竜町を経て留萌市に至る総延長五十キロメートルの一般国道自動車専用道路です。

高規格幹線道路は、道の3つの「夢」を実現化することから産業文化・情報など社会の全体に及んでその果たす役割と効果は大きいのです。国土の約五分の一を占める

留萌市から	所要時間	短縮時間
深川市まで	61分	23分短縮
旭川市まで	104分	37分短縮
札幌市まで	157分	36分短縮

※ 現在の所要時間(昭和63年走行速度調査の結果による)
※ 全道の高規格道路網が完成した場合の所要時間(推計値)



高規格幹線道路「深川・留萌自動車道」のうち、沼田町～幌糠間の約16の区間で現在計画が進められています。いよいよ今年、峠下橋の下部工の着工となります。

広がる行動圏

計画速度は、一〇〇km/時です。道路の幅は一部完成型で上幅二三・五mの上り下り二車線ずつの四車線道路を計画していますが、当面は暫定の二車線となる予定です。交差道路とはすべて立体交差となり、路線への乗り降りはすべてインターチェンジからとなります。

本路線は北海道縦貫道とアクセスしていくので地域の行動圏がグンと広がります。又、農・海産物輸送の効率化や工業団地の建設などさまざまな可能性が芽生えます。

高規格幹線道路は、道の3つの「夢」を実現化します。

- 高速性** 計画速度は100km/h。スピードな移動や輸送を可能にします。
- 快適性** 視界も広く、またSA・PAなども整備されているため運転も快適です。
- 安全性** 急カーブや交差点もなく、歩行者もいないため、安全に通行できます。



高規格幹線道路に期待しています

21世紀へ希望をつなぐ道

道は人や物の物理的移動だけでなく、人と人、生活と生活、地域と地域の心をつなぐ生命線です。本線は21世紀に希望と夢をつなぐ道です。高規格道路の全線完成によって何よりも地域間格差が解消されることは本当にうれしいことです。

市内団体役員

力強い地域経済の形成へは

全線事業化の決定以来そのもたらす効果計りしれない日々感じています。港を中心に発展してきた留萌経済にとって、物流の飛躍と地域経済に活力の満ちた活動を成長促進するものと考えています。一日も早い整備と完成を強く念願しています。

商工会議所役員

地域医療へ果す役割大きい

当市では旭川・札幌等第三次医療機関に患者さんを搬送することが多いのですから、この高規格幹線道路ができることにより搬送時間が大幅に短縮になります。当然これにより、多くの生命を守れると思います。

病院医師

若い世代にとっての社会環境整備へ

この道路が実現すると道内主要都市間との所要時間が大幅に短縮されます。「遠方」という距離感にある道東・道南方面も「生活圏」に入れることも夢ではありません。芸術文化の分野でもその交流が深まることは必定です。

文化団体役員

街づくりの要として

札幌まで二時間、釧路・函館まで五時間。これから留萌を支え築いていかなければならない私達の世代にとっても重要な意味を持ちます。留萌が住みよい街となり発展していくためにも高規格道路は直接的な役割を果たすと思っています。

学生

市民の総意を結集して

幌糠までは事業区間になり、今年秋にもいよいよ峠下橋の工事着工。しかし、幌糠から留萌市区までの残り十四kmは調査区間。環境問題など終え事業の準備にかかります。これまでも街をあげて早い事業化に向け、地元留萌開発建設部などを通じ国へ働きかけてきました。今後もこれまでに上り市民の総意で特に留萌側からの工事着工を働きかけることが課題となってきました。

事業のデータ

